

「気候変動等によるリスクを踏まえた総合的な水資源管理のあり方研究会」について (概要)

1. 目的

近年、地球温暖化に伴う気候変動により、降水特性等が変化し、水資源への影響が懸念されている。

このように水資源に対する新たな不安定要因が加わる中で、水利用の安全性を確保するため、「需要側と供給側の両方からの、総合的な水資源管理」のあり方を検討する。

2. 研究会での検討内容

- (1) 水資源に関わるリスクの現状整理
- (2) 気候変動に関する知見、気候変動等による水資源へのリスクの評価
- (3) 今後の総合的な水資源管理のあり方の検討
- (4) 提言のとりまとめ

3. スケジュール

7月18日：第1回会合

9月20日：第2回会合

(7月～12月において4回程度開催)

12月頃とりまとめ

4. 研究会の位置付け

国土交通省 土地・水資源局 水資源部長の私的研究会

5. 委員 (50音順。◎は座長)

沖大幹 東京大学生産技術研究所教授

小池俊雄 東京大学大学院工学系研究科教授

木幡邦男 (独)国立環境研究所水圏環境研究領域長

櫻井敬子 学習院大学法学部教授

津田和明 (独)日本芸術文化振興会理事長

長岡裕 武蔵工業大学工学部教授

松本和雄 (株)損害保険ジャパン顧問

◎虫明功臣 福島大学理工学群教授

森野美德 都市ジャーナリスト／日経広告研究所主席研究員

渡邊紹裕 総合地球環境学研究所教授